

欧州研修報告：野口日菜子、江崎彩乃、橋本樹季、岡山央奈、鈴木里彩、八並映里香

研修4日目 ライデン副市長との懇談、交流校でのグループ発表、

ライデン市のポール副市長にお会いすることができ、研修を通して感じた「日本とオランダとの文化・教育価値観の相違」について意見交換を行いました。どんどん発言するオランダの高校生に刺激を受け、私たちも積極的に発言することができました。互いの文化を尊重しあう姿勢が感じられました。（鈴木）

課題解決学習PBLのまとめとして、各自のモットーや将来の夢、研修内容について意見交換を行いました。オランダの生徒は常に積極的で、驚くほどダイレクトに意見を述べる姿勢に日本との違いを強く感じました。特に印象に残っているのは「海外交流プログラムの成功のために、最も必要とされる能力や行動は何か？」という議題になった時、私は「語学力や事前学習だろうか」という意見を持っていたのに対し、オランダの生徒達が最も重要だと挙げたのは“motivation, adoptability”、つまり「やる気と適応力」でした。何かを学ぶことは現地で行うべきだ、それよりも大切なことは自分からアクティブに動き、物事を吸収しようとする態度であるという彼らの意見は非常に興味深かったです。（八並）



← 副市長との懇談

課題解決学習での
グループディスカ
ッション →



最終日 在オランダ日本国大使館訪問<ハーグ>

日本大使館を訪れ、後藤参事官と森一等書記官にお会いしました。参事官からは、オランダの産業、地勢、日本との関係についてお話いただきました。欧州で最も付き合いが長い国であり、日本にとってとても重要な存在であることを実感しました。お話の後、私はオランダの高校生と二人でプレゼンを行いました。研修をとおして実感した「オランダと日本の生徒の違い」について話しました。オランダの教育では一人ひとりが自分のレベルに合わせて学習できる点、自分の考えを積極的に主張する点、そして何よりとても自由である点が特に日本と異なると感じました。一週間の滞在で彼らの自由さに多くの場面で本当に驚きました。大使館で貴重な発表ができ、本当にいい経験になりました。（野口）



研修をとおして

私たち6人は、オランダの同世代の生徒6人とそれぞれバディを組み、5日間のホームステイをさせていただきました。オランダは自転車が多く、歩行者よりも自転車が優先されるほどです。昼食は主にパンでしたが、戸外での研修中は、移動中歩きながら食べるという日本ではあまり見られない体験をしました。美しい街並みの中で食べるパンは格別に美味しかったです。直接オランダに行かなければ得られない経験をたくさんすることができ、とても有意義な一週間でした。

貴重な研修の機会をいただいた長崎東同窓会奨学会に心より感謝申し上げます。また長崎大学グローバル連携機構長特別補佐の山下龍先生には、事前研修やプレゼンのご指導をはじめ、現地との調整・プログラムの運営、現地での専門的な説明までいただき、本当にありがとうございました。（江崎 他5名）